



# 富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和7年4月25日

企業・団体名 REUSE LABO

代表者名 猶原 友紀子

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

## 記

1 取組み期間 令和6年2月1日（宣言日又は令和6年4月1日）～令和7年3月31日

## 2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 生活困窮家庭を含め、お金のかかる子育て世帯に良質な学生服や学用品を安価で提供することで、家計を応援する</p> <p>【実施状況】 卒業や成長に伴い着られなくなった学生服を各家庭から提供してもらい、おさがり(中古品)として、価格を新品定価の1/2以下に抑えて子育て世帯に提供した。 高価なランドセルは、おさがりを、数人に無償提供した。</p>
2	<p>【目標】 資源の有効活用・ゴミ削減を常に意識し、未来ある子供達に身近な学用品を通じて「もったいない」を認識してもらう</p> <p>【実施状況】 おおよそ2500点余りの制服や学用品を、ゴミにすることなく回収し、その内の約1000点余を、次に必要な家庭に提供することができたことで、衣料ゴミの削減につながったと考える。 余剰に集まったランドセルは、支援団体を通じて、海外の発展途上国に送付した。</p>
3	<p>【目標】 富山県内のリユース制服循環の拡大に努める</p> <p>【実施状況】 対象地域の個人事業主や団体にチラシを設置してもらったり、企業の従業員にメール配信をもらうなど、認知の拡大に努めた。 また、近隣の学校やPTAと、活動の協力をもらうべく、話し合いをしている。 事業を持続可能なものに発展させるべく、県内の同業者と連絡をとり、方法を模索している。</p>

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。